



器の正しい置き方

格調高い白木の器

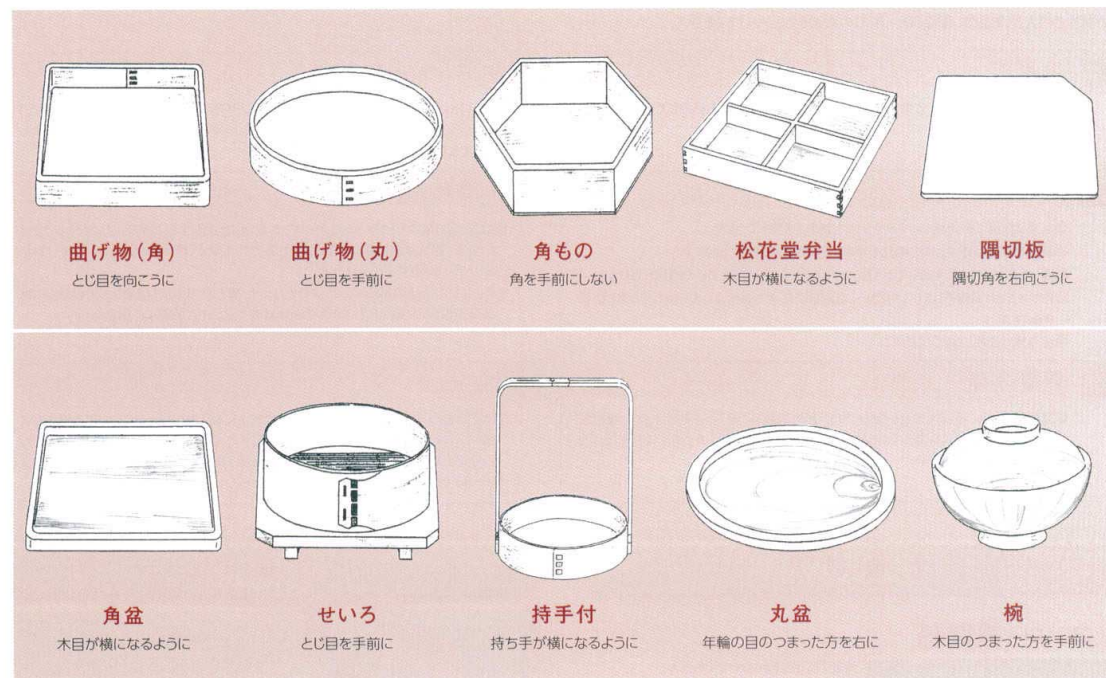
器としての木製品は器の中でも紋様も彩色もない白木地のものは格調高く、最上格とされております。

食べ易く、自然で美しく見える置き方をしたときがその器の正しい置き方です。

下の図が木製食器の正しい置き方の具体例です。

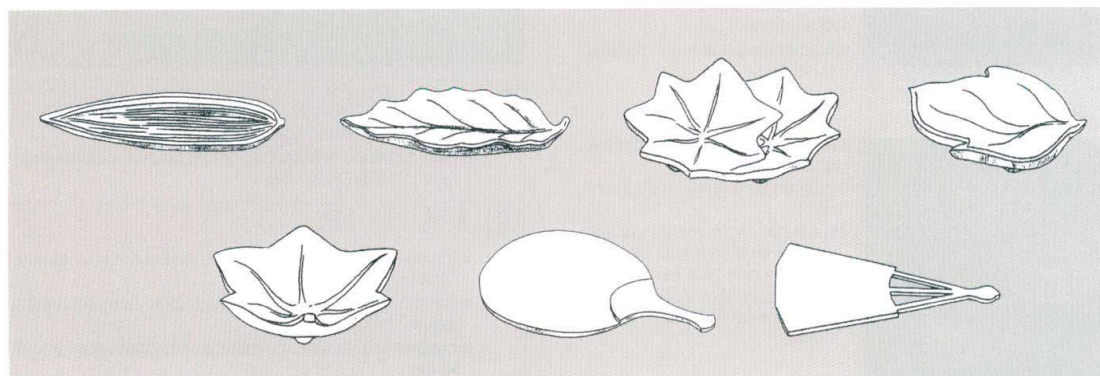
曲げものは「丸前角向」といわれるように丸い器はとじ目を手前に角ものは向こうにします。

器の底板は大体は柾目の板が使われますが、木製の器は柾目がたえず横になるように使うのが自然です。



葉皿・物相皿

笹の葉や楓の葉に代表される葉皿や物の型を写した物相皿は、葉先などを左か向こう側にして置くのが自然です。



調理道具
017-034

せいろ
035-043

鍋・コンロ
044-063

そば・うどん
064-073

竹製品
074-092

金彩・銀彩
093-099

弁当
100-125

飯器・椀
126-130

料理箱・皿
131-160

盛込
161-182

ピュッフェ
183-196

小鉢・珍味入
197-224

樹・酒の器
225-230

演出小物
231-262

紙製品
263-334

卓上用品
335-362

什器・備品
363-438

サイン
439-460

浴場用品
461-467

説明・注意
468-470

品名検索
471-480

番号検索
481-490